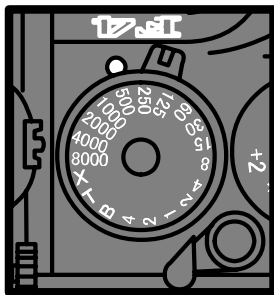
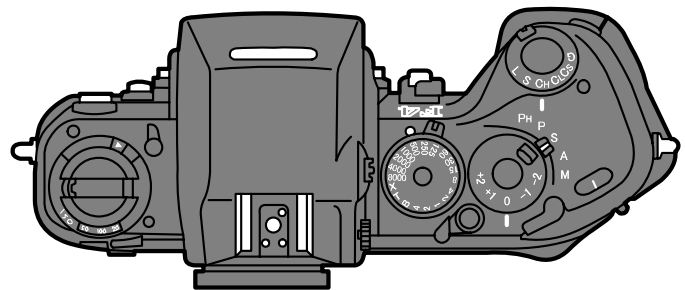
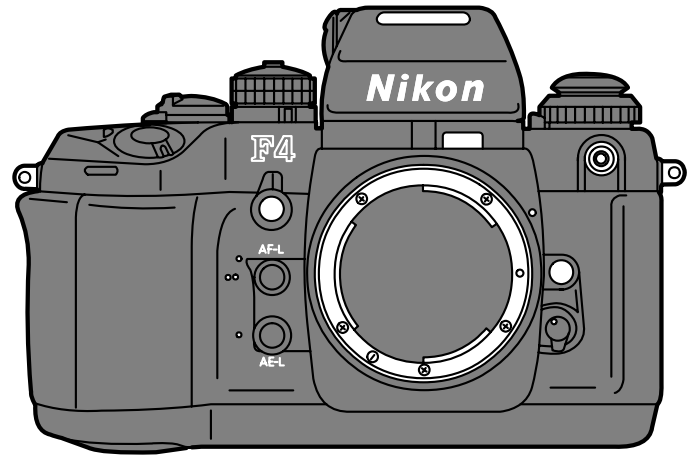


Nikon F4

スペック	
シャッター	1/8000 ~ 8秒・B・T・X (電子シャッター)
X接点	1/250秒
測光方式	多分割 (マルチパターン) 測光 / 中央部重点測光 / スポット測光
撮影モード	絞り優先 / シャッタースピード優先 / プログラム / マニュアル
サイズ	169.0 × 118.0 × 77.0mm
重量	1,090g
発売年	1988年
新品価格	絶版
中古相場	70,000 ~ 100,000前後
備考	ファインダー及びファインダースクリーン交換可。 装着バッテリーパックの違いにより、F4の他にF4SやF4Eがある。 露出計は液晶によるデジタル表示。 絞り値は光学直読式。 ミラーアップ可能。 AE撮影時は、30秒まで露光可能。 ファインダー視野率100% ファインダー倍率0.75倍 (DP20使用時)



ダイヤル式カメラを使うコンセプトとしては、このカメラのノミネートは適当でないかも知れない。なぜなら、ダイヤルでシャッタースピードの設定ができることには違いないが、もし撮影モード設定レバーが「P (プログラム)」や「A (絞り優先)」の位置にあれば、シャッターダイヤルの設定は無視されるのだ。これは、ダイヤル式カメラに慣れていないと、かなり戸惑ってしまう。1/500秒でシャッターを切ったつもりでも、実際にはプログラムモードで1/250秒だったりするということもあり得るわけだ。ファインダー内できちんと露出確認をすれば、そんな間違いは防ぐことができるのだが、カメラの露出計をほとんど使わない我輩には少々辛い。ただ、同じ方式を採用しているFAをカタログに入れている以上、F4を外す理由が無い。

そろそろ良い点を書こうと思ったが、もう一つ気になる所がある。それはボディの大きさだ。よく、「F3にモータードライブを付けたものよりは小さいぞ」と言われるが、それにしてもホールディングが心許ない。元々、グリップというのは直線的なほうが持ちやすい。短時間なら「人間工学」に優れた手の形に沿ったグリップがフィット感がある。しかしそれは逆に、引っぱりが乏しく長時間持ち続けていると辛くなる。ストラップをしっかりと手首に巻き付けて撮影したい。

さて、F4はプロ用カメラである。さすがにシャッターの音は切れが良い。多少のタイムラグがあるようだが、AFを使う場合にはそちらのタイムラグのほうが大きいので、気にしても仕方がない。MFレンズを装着した時に気になる程度だ。

巻き上げレバーが無いため、巻き上げモードには「低速巻き上げモード」が用意されている。ゆっくりではあるが、モータ音を極力抑えた撮影が可能となる。逆に、音さえ気にしなければ、バッテリーパックを交換するだけで秒間4コマから秒間5.7コマへアップする。

なお、初期型では電気系統のトラブルがたまにあるという噂を聞く。我輩自身は、借り物を一時期使用しただけなので、少なくともその間に不具合は無かった。

ただし、肝心のシャッターダイヤルの数字が刻印ではなく印刷であることが悔やまれる。やはり初期型の話だが、コズれて数字がハゲ落ちたということが多発したそう。これはカメラ雑誌に写真付きで掲載されていたので確かである。後期のものはハゲにくくなったとのことだが・・・。

正直言って、中古で手に入れるには積極的に薦められるカメラではないが、良い個体に巡り会えば未永く使えるカメラとなることだろう。